

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 63224422 A

(43) Date of publication of application: 19.09.88

(51) Int. Cl

H04B 7/26**H04B 7/26**

(21) Application number: 62056520

(71) Applicant: HITACHI LTD

(22) Date of filing: 13.03.87

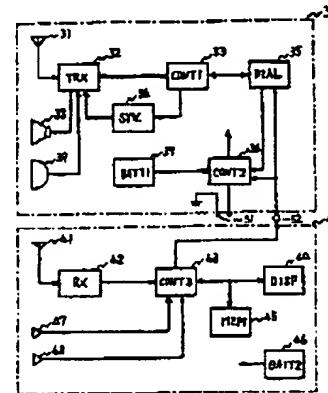
(72) Inventor: YAMAUCHI YUKIJI
TSUKAMOTO NOBUO**(54) COMPOSITE TERMINAL FOR MOBILE COMMUNICATION**

pocket bell system, it is possible to realize the expect reception with remarkably low power consumption by using an intermittent reception system.

(57) Abstract:

PURPOSE: To save a battery by changing only a mobile terminal side, by constituting a device in such a way that a paging receiver is incorporated or installed loadably/unloadably freely on a conventional portable radio telephone system, and expect reception for an incoming call is performed by the paging receiver.

CONSTITUTION: A radio telephone set 3 is constituted in such a way that the paging receiver 4 can be loaded/unloaded freely on the set, and when they are used separately, they are operated as an independent radio telephone set 3, and paging receiver 4. On the other hand, when they are used after being connected, a switch 51 which tenses the loading/unloading state of the paging receiver is closed when loading the paging receiver, and based on the above state, the power source control part 36 of the telephone system stops power supplying to a transmission/reception part 32, a control part 33, and a frequency synthesizer 34 in the radio telephone set 3, and stop the operation of the expect reception of the radio telephone set 3. Also, the power to every part in the paging receiver is always supplied, and the paging receiver always performs the expect reception. Since the paging receiver is a receiver of



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭63-224422

⑫ Int.Cl.^o

H 04 B 7/26

識別記号

109

103

庁内登録番号

6651-5K

6651-5K

⑬ 公開 昭和63年(1988)9月19日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全 5 頁)

⑭ 発明の名称 移動通信用複合端末

⑮ 特 願 昭62-56520

⑯ 出 願 昭62(1987)3月13日

⑰ 発明者 山内 雪路 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内

⑱ 発明者 坂本 信夫 東京都国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中央研究所内

⑲ 出願人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑳ 代理人 弁理士 小川 勝男 外1名

明細書

1. 発明の名称

移動通信用複合端末

2. 特許請求の範囲

1. 通信地域を複数のセルに分割し、それぞれのセルに無線基地局を配置したセルラ形移動通信方式に用いる携帯用無線電話装置において、これとは独立に動作するページング受信機を上記無線電話装置に内蔵、もしくは若くは若く自在に該着して構成されたことを特徴とする移動通信用複合端末。

2. 第1項記載において上記ページング受信機と上記無線電話機を接続した状態にあつては上記携帯用無線電話装置の待ち受け受信を停止させ、分離した状態であつては待ち受け受信の停止を解除させるペイプスイッチ手段を設けたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の移動通信

たは全部を上記携帯用無線電話装置へ伝達する手段を設けたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の移動通信用複合端末。

3. 発明の詳細な説明

〔現象上の特徴分野〕

本発明は移動通信複合端末に係り、特に電池により運用される携帯用無線電話装置に好適な複合端末に関する。

〔従来の技術〕

従来のセルラ形移動通信方式では、通信地域を複数の小ゾーンに分割し、各ゾーン毎に與なつた周波数の通話チャネル群と、呼出し制御チャネルが設けられ、各移動端末においては着信呼に対応するため、呼出し制御チャネルを常時待ち受け受信する必要があった。このため各種移動端末の消費電力を低減することが難しく、携帯用の無線電話装置においては電池の小型化が困難であった。

特開昭63-224422(2)

るセーピング専用の副脚チャネルを設け、このチャネルを節約受信することでバッテリーセーピングを図る方式が示されている。

(発明が解決しようとする問題点)

上記従来技術によればバッテリーセーピングの目的は一応達成されるものの、セーピング用の特徴な無線チャネルを各々（小ゾーン）内に設ける必要性を有し、周波数資源の需要がひとつ進している昨今においては周波数資源の有効利用という観点から問題があつた。また、既存のセルラ形移動通信方式に変更を加える必要を有していた。

本発明の目的は既存の移動通信方式に特別な変更を加えることなく、移動端末個のみの変更によつて上述のバッテリーセーピングを図ることにある。

(問題点を解決するための手段)

上記目的のため、本発明においては従来の携帯用無線電話装置にページング受信機を内蔵、もしくは着脱自在に装着させ、着信呼に対する待ち受け受信はページング受信機に行おせるよう移動通

信機合端末を構成した。すなわち、携帯用無線電話装置は通常待ち受け受信を行はず、ページング受信機により着信を知る方式とした。

なお本発明に用いるページング受信機としては、呼出先の電話番号等を表示できる表示付ページヤが効果的である。

〔作用〕

以上説明した移動通信用複合端末を用いれば、従来の無線通信システムやページング通信システムを変更することなくページング受信機を内蔵もしくは着脱した状態においては、携帯用無線電話装置に待ち受け受信をさせる必要がなく、該電話装置のバッテリーセーピングに効果がある。

(実施例)

以下、本発明の実施例について附圖を参照しながら詳細に説明する。

第1図は本発明による移動通信用複合端末の一実施例の外観を示すものであり、携帯用無線電話装置（以下無線電話機と略す）とページング受信機とを着脱自在に構成した例である。1は無線電

話機の外観、2はページング受信機の外観を示す。

第2図は本発明による移動通信用複合端末の一実施例のプロトクルを示したものである。同図において、3は無線電話機、31は電話機用アンテナ、32は送受信部、33は電話制御部、34は周波数シンセサイザ、35はダイヤル部、36は無線機の電話制御部、37は電話機用電池、38はスピーカ、39はマイクロホン、4はページング受信機、41はページング受信アンテナ、42はページング受信部、43はページング受信機制御部、44は表示部、45はページング情報メモリ、46はページング受信機用電池、47はダイヤル情報の伝送指示スイッチ、48はダイヤル情報の着脱指示スイッチ、51はページング受信機の着脱状態を感知するスイッチ、52は携帯用端末コネクタである。

第3図は本発明による携帯用複合端末装置を用

2図に示したものに等しい。また、7は移動通信端末、71は公衆電話回線、72～74は無線電話基地局、8はページング信号送信局、81はページング信号、82は無線電話信号である。

次に、本実施例の動作を詳細に説明する。

第2図において、無線電話機3はページング受信機4と着脱自在の構造を持ち、分離して使用中は人々、独立した無線電話機3、ページング受信機4として動作する。逆に接続して使用する際は、ページング受信機の着脱状態を感知するスイッチ51がページング受信機の着脱のとき閉じられ、これを受けて電話装置の電話制御部36は無線電話機3内の送受信部32、制御部33、周波数シンセサイザ34への給電を停止し、無線電話機3の待ち受け受信動作を止める。またページング受信機4内の各部は音階給電されており、上記ページング受信機4は常時待ち受け受信を行つている。

特開昭63-224422(3)

待機方式で待ち受け受信が可能である。

第3図において公衆回線71から上記複合端末6に対する呼が生起すると、移動通信制御局7はまず無線電話基地局72～74に対し、一斉呼出しを指示する。各無線基地局72～74はこれを受けて、各々が管轄するセル内に上記複合端末6に対する呼出し信号82を送出する。

一方、上記複合端末6においては、ページング受信機4を接続した状態にあるとすれば、無線電話機3は停止状態にあり、この呼び応答することができない。従って発呼者もしくは移動通信制御局7は、一定時間経過後該複合端末6が停止している事を知り、次に呼をページング信号の送出に切り替える。この切替操作は発呼者が手動で行つても、あるいは移動通信制御局7が自動で行つてもよい。上記複合端末6に対するページング信号81はページング信号送出部8から送信される。

上記ページング信号81を受信したページング受信機4は着信呼があった事を音、光等の手段により加入者に報知すると共に、受信したページ

グ情報を一旦、ページング情報メモリ45にストアする。なお本発明にかかるページング信号としては、発呼者の電話番号等がページング情報として送信されることを想定している。

ページング受信機4により着信呼を知った加入者は、表示部44に表示される相手方の電話番号に対し逆に発呼を行うわけであるが、この目的のため、加入者はページング受信機4に設けられたダイヤル情報の転送指示スイッチ47を押下する。これによりページング受信機4は、先に受信したページング情報情報をページング情報メモリ45から取り出し、情報伝達用コネクタ52を介して電話装置のダイヤル部35、電源制御部36に伝送する。上記電源制御部36はこれにより上記無線電話機3の各部への電源供給を再開させる。相手先電話番号を含んだ上記ページング情報はダイヤル部35にも伝送されているから、電話制御部33はこのダイヤル番号に基づいて発呼を行う。

ところが、本発明による複合端末においては無

線電話機3が當時待ち受けを行っていないため、発呼に先立ちまず自身が第3図の無線基地局72～74のいずれのサービスゾーンに位置するかを知る必要がある場合も考えられる。このような時は次に述べる手順で自身の所属ゾーンを判断する。

各セルの無線基地局72～74には各々異なる周波数の通話チャネル群と制御チャネルが割当てられている。各ゾーンの上記制御チャネルを複にそれぞれC₁、C₂、C₃とする。上記無線電話機3は、上記チャネルC₁、C₂、C₃を順に受信し、もしそのチャネルで無線基地局が送信中であれば、その信号強度を記憶する。送信されていなければ、あらかじめ定められた制御信号を無線基地局にあてて送信し、上記制御チャネル上に搬送波を送出するよう無線基地局に要求する。しかる後、上記無線基地局より送出された搬送波の信号強度を測定し、記憶する。上記無線電話機3は、

次に上記無線電話機3は改めて発呼要求信号を無線基地局に送出する。以後の発呼接続手順は従来の自動取電方式と同様であるから略説する。

なお、以上の手順は相手からの着信呼に差し応答する場合であるが、応答する必要のない呼であると判断した場合は、ページング信号受信時点で、ページング情報の転送指示スイッチ47を押下する代わりに、ページング情報の破棄指示スイッチ48を押下し、ページング情報メモリ45をクリアすれば良い。

第4図は上述の複合端末において、無線電話機内の電池取扱部を工夫し、大形の電池37とか、もしくは小形の電池37bとページング受信機2の組み合わせのいずれか片方を電池取扱部に装着できるよう構成した一実施例の外観を示すものである。同図に示す構成を用いれば、ページング受信機による短時間の待ち受け受信を可能にする。

特開昭63-224422 (4)

以上説明したもの以外にも、特許請求の範囲1に記載した通り、ページング受信機を無線電話機に内蔵し、一体構成にすることも可能である。この場合の動作も前記容認式の場合と同様に行うことができる。

(発明の効果)

以上、説明の通り本発明によれば、携帯用無線電話の待ち受けに併して無線電話機自身が待ち受け受信を行う必要がなく、バッテリーセービングに嬉しい効果を發揮する。また待ち受け受信そのものはポケットベル等のページング受信機が行うため、若干の時間遅延はともなうものの、着信呼は確実に加入者に伝達される。

次に本複合端末を着脱式に構成すれば、通常の無線電話機としても、バッテリーセービングを行う複合端末としても利用でき、使用者の必要に応じ自由な組み合わせが可能である。

また本複合端末内にページング情報の伝達手段を設けた事により、ページング呼出しを受けた際呼出し元へ一歩動作で発呼が可能であり、その利便

性に關しては従来の無線電話機を単純で使用する場合に比べ遜色がない。

さらに本複合端末に係る無線通信方式は我々、従来のセルラ通信方式、ポケットベル呼出し方式と何ら變るところがなく、請求のみの變更であるから極めて容易に導入可能である。

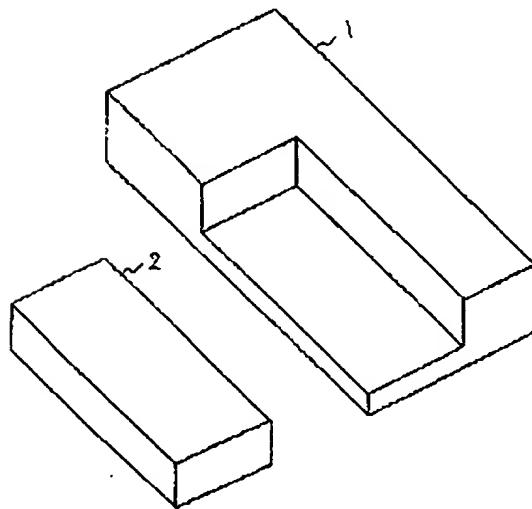
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の外観、第2図はそのプロック図、第3図は本複合端末を用いたシステムのプロック図、第4図は延伸取扱部を工夫した本複合端末の一実施例の外観を示したものである。

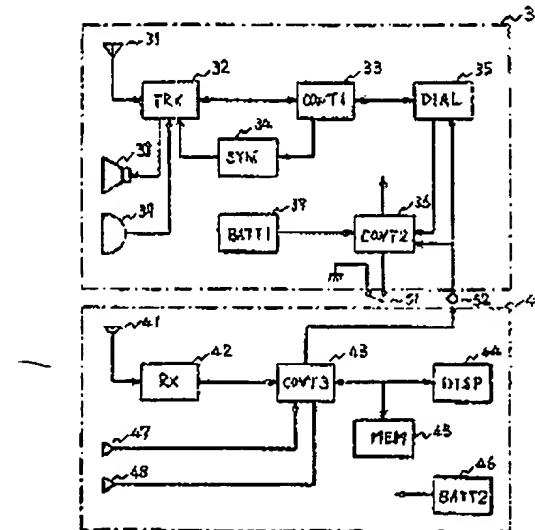
3…無線電話機、4…ページング受信機、35…電源制御部、45…ページング情報メモリ、51…着脱状態監視スイッチ、52…情報伝送コネクタ、6…複合端末装置、7…切替部、72～74…無線基地局、8…ページング信号送信部。

代理人弁理士 小川勝男

第1図



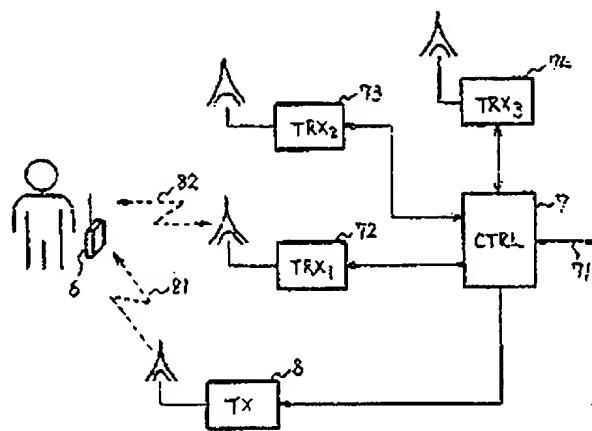
第2図



3 無線電話機

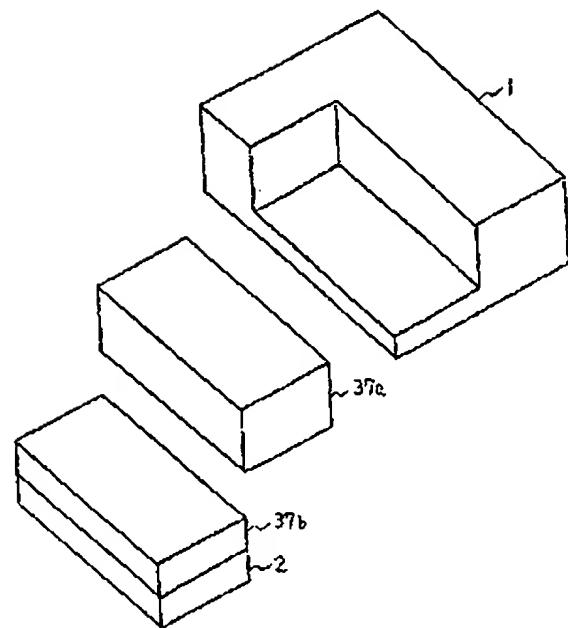
特開昭63-224422(5)

三 圖



6	複合端末装置
7	制御局
8	ペーパンライセンス局
71	公衆電話回線
72-74	無線基地局
81	ペーパンライセンス
82	無線電話回線

漢山圖



1 無線電信機の外観
 2 ベーリー受信機の外観
 37a 入笠電池
 37b 大型電池

特開昭63-224422

【公報査別】特許法第17条の2の規定による補正の拒絶

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成6年(1994)8月19日

【公開番号】特開昭63-224422

【公開日】昭和63年(1988)9月19日

【年通号数】公開特許公報63-2245

【出願番号】特願昭62-56520

【国際特許分類第5版】

H04B 7/26 109 7304-5K
 103 7304-5K

BEST AVAILABLE COPY

手 本 件 工 事
 平成 6 年 3 月 2 日

特許庁長官印

事件の表示

昭和62年特許願第56520号

発明の名稱 移動電話用複合端末

補正をするる

事件との関係 発明の類人
 名称 (510) 株式会社 日立製作所

代理人

名称 〒100 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 株式会社 日立製作所 内
 電話番号 03-3212-3111(大代表)
 氏名 (6850) 佐藤 小川 勝男

請求の対象 明細書の「発明請求の範囲」及び
 「発明の詳細な説明」の記。

補正の内容

1. 本願特許請求の範囲を別紙のとおり補正する。
2. 本願電伝書の第3表第1欄の最初に「は」を「け」と替がせる。

回復

特許請求の範囲

1. 既存電話機局との間の各種接続を備えた携帯型無線電話装置と、ページング受信機とからなり、上記ページング受信機が上記無線電話装置に内蔵もしくは別個自在に装着され、該ページング受信機によって上記無線電話装置に対する旨も受け取れるようとしたことを特徴とする移動電話装置。
2. 前記ページング受信機が携ち歩く受信装置中は切替無線局が位置における電波強度を保持しておき、ユーザ操作に応答して上記動作機械を選択的に切替せる機能制御手段を備えたことを特徴とする第1項に記載の移動電話装置。
3. 前記ページング受信機で受信しミーティング装置の少なくとも1部を切替無線電話装置に通話し、該移動電話を利用して完好動作を行なうようにしたことを特徴とする第1項に記載の移動電話装置。